

宮城労働局の労働災害発生状況(1月～12月)

平成30年3月31日現在

休業4日以上 の死傷者数 (うち死亡者数)	平成29年		平成28年同期		平成27年同期		平成29年と平成28年の比較		
							増減数		増減%
全産業	2,385人	(17人)	2,467人	(16人)	2,282人	(22人)	-82人	(1人)	-3.3%
製造業	473人	(1人)	474人	(4人)	421人	(3人)	-1人	(3人)	-0.2%
建設業	350人	(5人)	432人	(5人)	372人	(5人)	-82人	(0人)	-19.0%
陸上貨物運送事業	324人	(2人)	305人	(0人)	292人	(4人)	19人	(2人)	6.2%
林業	29人	(0人)	37人	(1人)	28人	(0人)	-8人	(1人)	-21.6%
第三次産業	1,100人	(8人)	1,115人	(6人)	1,059人	(6人)	-15人	(2人)	-1.3%
商業	376人	(5人)	438人	(1人)	378人	(1人)	-62人	(4人)	-14.2%
小売業	286人	(3人)	310人	(0人)	285人	(0人)	-24人	(3人)	-7.7%
社会福祉施設	171人	(0人)	170人	(0人)	158人	(1人)	1人	(0人)	0.6%
上記以外の業種の合計	109人	(1人)	104人	(0人)	110人	(4人)	5人	(1人)	4.8%

年別の労働災害発生状況(1月～12月)

発 生 年	平成28年	平成27年	増減数	増減%
休業4日以上 の死傷者数 (うち死亡者数)	2,467人 (16人)	2,282人 (22人)	185人 (6人)	8.1%

宮城労働局の労働災害発生状況

平成30年3月31日現在

監督署別(1月~12月)

	平成29年	平成28年同期	平成27年同期	平成29年と平成28年との比較	
				増減数	増減%
休業4日以上 の死傷者数 (うち死亡者数)	2,385人 (17人)	2,467人 (16人)	2,282人 (22人)	-82人	-3.3%
仙台署	1,379人 (11人)	1,442人 (7人)	1,328人 (9人)	-63人	-4.4%
石巻署	391人 (5人)	374人 (3人)	370人 (6人)	17人	4.5%
古川署	294人 (0人)	309人 (2人)	247人 (2人)	-15人	-4.9%
大河原署	173人 (0人)	174人 (2人)	159人 (3人)	-1人	-0.6%
瀬峰署	148人 (1人)	168人 (2人)	178人 (2人)	-20人	-11.9%

年別の労働災害発生状況(1月~12月)

発生年	平成28年	平成27年	増減数	増減%
休業4日以上 の死傷者数 (うち死亡者数)	2,467人 (16人)	2,282人 (22人)	185人	8.1%

平成29年 宮城県内における死亡災害発生の概要

(公表用)



=東日本大震災復旧作業

平成30年3月31日現在

番号	発生年月	事故の型	業種	災害の概要
	時間帯	起因物	労働者数	
1	平成29年1月	起因物無し	建設設備工事業 (3・2・3)	自宅で倒れているところを発見され、心疾患による死亡が確認された。長時間労働及び精神的緊張を伴う業務を行ったことにより業務上災害と認定されたもの。
	午前0時頃	分類不能	10～29人	
2	平成29年1月	はさまれ、巻き込まれ	産業廃棄物処理業 (15.1.2)	一般住宅の廃材をチップにする工場内において、粉碎された木くずから鉄くず、プラスチック等を手選別していた被災者が、選別箇所にもくずを送り出すベルトコンベアの端部の供給機のローラーに腕を巻き込まれ、死亡した。
	午後2時頃	コンベア	10～29人	
3	平成29年2月	はさまれ、巻き込まれ	一般貨物自動車運送業 (4.3.1)	バッテリーの上がったトラックAの脇に別のトラックBを並べ、ブースターケーブルを繋ぎ、エンジンを始動させた後、当該ケーブルを外していたところ、エンジンを始動させたトラックAが動き出し、トラックBとの間にはさまれ、死亡した。当初、牽引でトラックAを動かそうとしたためトラックAのサイドブレーキを外したままだった。
	午前10時頃	トラック	10～29人	
4	平成29年2月	飛来、落下	道路建設工事業 (3.1.6)	くい打機のドリルを接続するためピン打ち作業中、作業箇所の上方にワイヤロープでつり上げられていたくい打機のハンマー部分が、ワイヤロープの切断により落下し、作業の足が掛かりにしていた部材と当該ハンマーに両足をはさまれ死亡した。
	午後1時頃	基礎工事用機械	10～29人	
5	平成29年2月	交通事故(道路)	その他の卸売業 (8.1.9)	トラックを運転し、一般道を走行中、対向車線からはみ出してきた大型トレーラーに正面衝突され、死亡した。
	午前11時頃	トラック	10～29人	
6	平成29年3月	おぼれ	その他の小売業 (8・2・9)	漁港の沖約1 Km付近の海上で、同僚と漁をしていた際、風、波に船があおられ転覆し、海上に投げ出されたもの。
	午前10時頃	水	1～9人	
7	平成29年3月	おぼれ	その他の小売業 (8・2・9)	漁港の沖約1 Km付近の海上で、同僚と漁をしていた際、風、波に船があおられ転覆し、海上に投げ出されたもの。
	午前10時頃	水	1～9人	
8	平成29年3月	転倒	その他の教育研究業 (12.1.9)	スキー場で研究開発に必要なデータ取りをしていた被災者が、路上で倒れ、死亡した。
	午後10時頃	環境等	300人以上	
9	平成29年4月	はさまれ、巻き込まれ	漁業 (7.2.1)	定置網漁船の出港前、エンジンをかけた状況で、被災者が船上の網を覆っていたブルーシートを取り外す作業を行っていたところ、当該船のキャプスタン(巻き取り装置)にブルーシートとともに巻き込まれ、死亡した。
	午前5時頃	その他の動力運搬機械	10～29人	
10	平成29年5月	墜落、転落	自動車小売業 (8.2.2)	プラットホームの縁に立ち、後進してくるトラックを誘導していた被災者が、当該プラットホームから下のコンクリート面に墜落し、死亡した。
	午後3時頃	その他の仮設物、建築物、構築物等	1～9人	

(注)速報をとりまとめたものであり、今後、修正・削除される可能性がある。

平成29年 宮城県内における死亡災害発生 の概要

番号	発生年月	事故の型	業種	災害の概要
	時間帯	起因物	労働者数	
11	平成29年7月	交通事故 (道路)	河川土木工事業 (3.1.9)	作業終了後、ワゴン車で現場から会社に向けて帰る途中、東北自動車道下り線で、ワゴン車が左ガードレールに衝突し、後部座席に同乗していた被災者が死亡した。
	午後5時頃	乗用車、バス、バイク	10～29人	
12	平成29年8月	はさまれ、巻き込まれ	鉄骨・鉄筋コンクリート造家屋建築工事業 (3.2.1)	壁補修工事中、コンベア点検用のステージから、壁補修用足場に乗り移る際、当該コンベア内に落下し、巻き込まれ、死亡した。
	午後4時頃	コンベア	1～9人	
13	平成29年9月	交通事故 (道路)	陸上貨物取扱業 (5.1.1)	国道のトンネル内でトラックを運転中、出口付近で縁石に接触し、その弾みでセンターラインを越え、対向車線を走ってきた大型バスに正面衝突し、トラックの運転手が死亡した。
	午前8時頃	トラック	10～29人	
14	平成29年9月	墜落、転落	倉庫業 (8.4.1)	穀物を入れていた空サイロ内下部の配管上で、ケレン棒を使用して、サイロ内壁面に付着した穀物の粉をかき落とす作業をしていた作業員が、サイロ底部に転落し、壁面からはがれ落ちてきた穀物の粉に埋まり、窒息死亡した。
	午前10時頃	その他の仮設物、建築物、構築物等	10～29人	
15	平成29年10月	はさまれ、巻き込まれ	産業廃棄物処理業 (15.1.2)	被災者が空き缶等を圧縮するスクラッププレスに缶類を並べていたところ、センサーが被災者の身体を感知したため、当該プレスが動き出し、身体をはさまれ、死亡した。
	午前8時頃	その他の一般動力機械	10～29人	
16	平成29年11月	はさまれ、巻き込まれ	製鉄・製鋼・圧延業 (1.10.1)	鋼材を結束する機械を停止させ、2名でその掃除・点検をしていたが、被災者が当該機械から離れる前に相方が機械の運転を再開してしまい、被災者が動いた当該機械の間にはさまれ、死亡した。
	午後9時頃	その他の一般動力機械	100～299人	
17	平成29年12月	墜落、転落	鉄骨・鉄筋コンクリート造家屋建築工事業 (3.2.1)	鉄骨造工場増築工事現場で、組立て中の鉄骨柱が傾き、柱間を渡していた梁の上にいる被災者が約7mの高さから墜落し、死亡した。
	正午頃	屋根、はり、もや、けた、合掌	1～9人	

(注)速報をとりまとめたものであり、今後、修正・削除される可能性がある。